

## 映画「ふしぎな石～ガザの空」 *سما غزة الحجر العجيب*

12月12日(土)、せんだいメディアテーク 7Fスタジオシアターで3回上映し、130名の方々に鑑賞していただきました。上映に先立ち、NPO 法人地球のステージで、現地ガザで活動している前田那美子さんから活動の様子や映画制作について紹介していただきました。ガザは世界で最も危険と言われている所。ドキュメンタリーではなく、敢えてフィクションで描くガザの真実の物語です。



今年の夏に現地で撮影され、破壊された町並みはそのままだけに映し出されています。物語は、「お母さんを亡くしたファラッハと3人の少女たちが暗号を解いて5つの石のかけらをさがす旅を始めます。出会った5人の大人たちから戦争を生き抜く大切なキーワード(祈り、大地、努力、勇気、心)を教えられます。そしてついに国境線の砂の丘で石はひとつになり光り、そこから聞こえてきたのはファラッハの亡くなったお母さんからのメッセージでした……」  
戦場の地でも、愛や優しさが存在します。みんな平和に暮らしたいと願っているのです。

## ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動)行いました

ユニセフ・ハンド・イン・ハンドは、1979年の国際児童年にはじまり、今年で37回目を迎えます。今年のテーマは「すべての子どもに5歳の誕生日を」。世界の5歳未満児の死亡数は、1990年から半分以上に減少しましたが、いまでも年間590万人(約5秒にひとり)の幼い子どもたちが予防接種で簡単に防げる感染症や下痢による脱水症、栄養不良など、先進国では考えられないような理由で命を落としています。世界の子どもたちに生きるチャンスを、育つチャンスを、学ぶチャンスを届けましょう!

今年も多くの方々がボランティアとして参加してくださいました。12月23日、仙台市青葉区一番町(仙台フォーラス付近、中央通り水晶堂付近)で約70名が募金活動を行い、124,024円のご協力がありました。ご協力くださいました皆様、ありがとうございました!



## 募金贈呈式

■11月24日、聖ウルスラ学院英智高等学校生徒会の皆さまより13万円余の募金贈呈があり、学校へ出向きました。

■12月10日、仙台市立松森小学校の児童のみなさんが、先生と一緒に13千円余の募金をお持ちくださいました。



■12月17日、南光シオン幼稚園のみなさんからクリスマス献金の一部として2万円余の募金をお持ちくださいました。

■12月24日、松島町国際交流協会の皆様より8万円余の募金が寄せられました。皆さま、ありがとうございました。



宮城県ユニセフ協会が設立20周年を迎えたということで、Date fm J サイドステーション(パーソナリティ・石垣のりこさん)に出演させていただきました。12月2日水曜日の午後2時半からの生放送で、たいへん緊張しましたが、宮城県におけるユニセフ活動のあゆみや現在の活動などをお知らせすることができました。車で移動中の方や職場で聴いている方が多いですね。ラジオはとても身近な情報源です。災害時は特に助かりました。スタジオを拝見し、絶えず放送し続けていただけることに、改めて感謝の想いがあふれてきました。

